

下村小学校「ちょボラ」活動報告

◆ 活動の取組状況



月1回、各委員会の児童が順番に玄関前に出て、アルミ缶回収を行いました。集まったアルミ缶はいみず宛に寄付しています。学習発表会で5年生が福祉について発表し、活動への参加を呼びかけました。



10月に美化・掲示委員会主催の「なかよしクリーン作戦」が例年通り行われました。空き缶やタバコの吸い殻等を拾い、通学路がきれいになりました。



1月には、下村っ子のきずなを深める挨拶を広げようという目当てをもち、児童会が「あいさつ運動～目指せ！あいさつの達人」を企画しました。「あいさつ免許状カード」を準備して全校に呼びかけ、挨拶のレベルアップを図りました。



1月、4年生がエコキャップの回収を呼びかけ、全校で8114個集めることができました。集めたエコキャップがビニール袋に生まれ変わることを知りました。



全校に呼びかけて、12月に「赤い羽根共同募金」、1月に「書き損じはがき回収」の協力をお願いしました。今年も募金は11376円、はがきは、159枚も集まりました。



12月には、5年生が下村保育園を訪問し、来年度下村小学校に入学する年長さんと交流しました。クイズやゲーム等で楽しくふれ合う時間を持ちました。

◆ 活動の振り返り（5年生の感想より）

アルミ缶回収をして、ぼくは初めなゼアルミ缶を回収するのか分からなかったけど、いみず宛の利用者の方が空き缶をつぶす仕事をされるお手伝いのためだと知って、これからはつぶさずに洗って持ってくるようにしようと思いました。学習発表会で全校に呼びかけると、たくさんの方が協力してくれて嬉しかったです。

赤い羽根共同募金、書き損じはがきの回収をして、みんなのちよっとずつの思いやりの気持ちが集まって大きな力になるんだということが分かりました。集まった募金、はがきは、助けを必要としている人たちに寄付されるそうです。みんなが幸せに暮らせる社会にするために、自分たちにできることを見付けていきたいです。